

平成 29 年度 事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人...チョウタリィの会

1 事業の成果

- 「困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業」については、当期においても、「タイの HIV に感染者を家族に持つ子どもたちへの就学等の支援」を行いました。子どもたちからは年に 2 回手紙と写真が送られ、健康状態や家庭の状況等の報告も届きました。ほとんどの家庭が現状において未だに貧困に苦しんでおり厳しい状況ではありますが、子どもたちに教育の機会を与えることにより、将来において貧困の連鎖から脱することができ、未来に夢を持つことができるものと思います。

「ネパールの教育保健支援」においては、カウンターパートのチョウタリィ・ネパール (CN) を通して小児がん等で入院している子どもたちが遊べるように、古タイヤを利用した遊具を病院の敷地等に作りました。外で遊ぶことにより辛い入院生活を少しでも楽しく過ごすことができ、病の回復につながればと思います。



古タイヤで作った遊具

- 「途上国における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業」においては、当法人が 2010 年より行っている「ネパールにおける公立学校新校舎建設支援プロジェクト」の 18 校目のジャナ・カルヤン学校（カブレパランチョーク郡）及び、同プロジェクトの 19 校目のカリ・デビ・ハイヤー学校（ラリトプル郡）の 2 校の新校舎が完成しました。



2015 年のネパール大地震で破壊されたジャナ・カルヤン学校（左）とカリ・デビ・ハイヤー学校（右）の旧校舎

両校は、2015 年に起きたネパール大地震においてほとんどの校舎が損傷し、子どもたちが勉強するには非常

に危険な状態となってしまいました。また、雨季においては雨漏れ等の問題が起こり、安全面のみならず環境面においても授業が円滑にできない状態でした。また、生徒数に対して教室の数が不足し、実質的には学校に通えない子どもも多くいました。



ジャナ・カルヤン学校の新校舎



カリ・デビ・ハイヤー学校の新校舎

当プロジェクトにおいて、両校とも大地震後にネパール政府が新たに制定した校舎建設のガイドラインに基づき校舎を建設しました。

同事業の成果としては、新校舎が完成し両校の教室不足の問題がほぼ解消し、これまで教室不足のために学校に通えなかった子どもたちが学校に通うことができるようになりました。

また、校内の環境が安全になり、天候に左右されることもなく雨天でも円滑に授業を行うことができるようになりました。

当法人の校舎建設支援は、地域住民や教師等で組織された学校運営委員会（SMC）と協議を諮りながら建設支援を行っています。その結果、教師や生徒においては、教育や勉学に対する意欲や意識が高まり、また地域住民においては、女子を含めた教育の重要性をより深く認識してもらうことができました。

当法人が建設支援を行っている校舎は、これまで全て耐震構造により建設しています。ネパール大地震においても破損した校舎はなく、地域の避難所として新校舎が利用されました。この度完成した2校の校舎においても当該地域の災害時の安全に貢献できるものと思います。当プロジェクトを通して、貧困の問題、他国への出稼ぎ労働の問題、人身売買の問題等の解消につながる活動にしていきたいと考えております。

なお、前期より開始したブッダ・バグワン学校（ラリトプル郡）、マニケル・ローワー学校（ラリトプル郡）、カリ・デビ学校（カブレパランチョーク郡）の3校の新校舎の建設支援プロジェクトも継続して行っており次期において完成する予定となっております。

- 新校舎建設支援活動に伴って、「国内外の伝統文化等の紹介及び国際交流に関する事業」としてカリ・デビ・ハイヤー学校、マニケル・ローワー学校、ブッダ・バグワン学校の3校を表敬訪問しました。



カリ・デビ・ハイヤー学校へつづく道



ブッダ・バグワン学校訪問



マニケル・ローワー学校訪問

3校は、いずれもラリトプル郡の山奥にあり、特にカリ・デビ・ハイヤー学校は、未舗装で車一台分の幅しかない細くて険しい崖つたいの道を辿って訪問しました。

3校とも、生徒たちに鉛筆や消しゴムなどの学用品や折り紙のコマなどをプレゼントしました。また、教師たちと学校や周辺地域の現状や問題、校舎建設支援事業の進捗状況、将来の展望などについて話し合い親交を深めました。

なお、3校においては次期において日本からの支援者と共に現地に訪れ、新校舎の開校式を行う予定となっております。

- 「途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の環境改善を図るための協力事業」では、インドネシアにおいて経済的に貧しい人たちに対して無料で助産を行っている助産院ヤヤサン・ブミ・セハットへの支援を行いました。当法人では、任意団体時の2007年より同助産院に対し支援を行っています。同事業の成果としては、同助産院の運営が安定して行われ、バリ州における経済的に貧しい妊産婦が安心して出産できる体制が確保されました。さらに同助産院においては、ウブド地区に病院を建設し開院に至るまでの発展を遂げました。これらのことから当法人では、これまでの支援活動が大きく実を結び、同プロジェクトの目的が達成したものと判断しております。そのため、同助産院への支援の規模を支援活動開始当初と比べ大幅に減少することができるようになりました。
- 「途上国等における自立を目指す人々への協力事業」では、ネパールでのカウンターパートの TEWA と協働で行った女性の自立支援による製品の紹介を国内のイベントなどで行いました。また、カウンターパートの LGN に対しても女性の自立のための染色講習の計画準備を行いました。ネパールにおける女性の自立に寄与することができる活動にしていきたいと思えます。
- 「機関紙、刊行物、講演、展示会、ウェブサイト、映像上映等による広報及び啓発事業」においては、機関紙「チョウタリ通信」を作成し会員、支援者、一般の人々に配布しました。

多文化共生社会の重要性を地域の人々と共に考え啓発するために国際交流のツールとしての折り紙教室、ポーランドダンスのワークショップを行いました。

折り紙教室で作られたコマ等は、ネパールの学校訪問等で子どもたちにプレゼントしました。

また、大阪産業大学において国際ボランティアについての講義を行いました。



多文化共生のための折り紙教室の様子

- 「関連団体及び関係する国際機関との相互協力」においては、奈良市ボランティアインフォメーションセンター主催の Hug²祭り 2017 に参加しました。当法人の活動を来場者に知って頂くことができる活動となりました。
- 「災害復興協力事業」における東日本大震災被災地の女性の仕事作り支援については、当期においても、ク

ラフト製品の素材となる着物の生地等の寄附の呼びかけを行い、女性のグループに届けました。また、商品開発のためのデザインの構想、サンプル品の作成などを行いました。生産力、技術力の向上を図りつつ、持続できる活動にしていきたいと思えます。



クラフト製品

ネパールのタライ平原で8月に起きたネパール洪水において、カウンターパートのCN及びLGNを通して洪水被災者への食糧及び生活物資等の支援を行いました。洪水による不衛生な状況下において、清潔な食糧、衣類、タオル等の支給は、疫病の予防につながりとても被災した人々に喜ばれました。



洪水被害の様子（ダヌシャ郡）



食糧、生活物資等の支援の様子（ダヌシャ郡）

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支給額 (千円)
困難な状況にある子どもたち等に対する教育、保健等の支援事業	タイにおいてHIVに感染している家族を持つ子どもたちへの就学等の支援を行った。	通年	タイ バンコク ムクダハン県、 バンガー県	2名	HIV感染者を家族に持つ子どもたち10名	401
	ネパールでの小児がん等で入院している子どもたちのための遊具を作った。	通年	ネパール ダヌシャ郡	3名	病院で入院している子ども多数	363
途上国等における教育環境の改善を図るための校舎建設等の協力事業	ネパールにおいて老朽化し教室が不足している公立学校2校の新校舎が完成した。前期に引き続き3校の新校舎を建設中。	通年	ネパール ラリトプル郡 カブレパランチョーク郡	3名	校舎建設地域の子どもたち、住民、教師等 約8,000名	8,209
途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の環境改善を図るための協力事業	インドネシアにおいて経済的に貧しい人たちに対して無料で助産行為を行っている助産院への支援を行った。	通年	インドネシア ギャニャール県	3名	同助産院地域の住民等 不特定多数	102
途上国等における養護施設、助産施設、医療施設等の人材育成を図るための協力事業	当期は実施しない					0
HIV及びAIDSの予防を目的とした啓発事業	当期は実施しない					0
HIV及びAIDS感染者の人権を擁護するための事業	当期は実施しない					0
途上国等における自立を目指す人々への協力事業	ネパールにおける自立を目指す人々への技術指導及び製品の紹介。	通年	ネパール ラリトプル郡 奈良市	3名	生産者及び授産施設で働く人々 約30名	340
国際協力及び海外事情の調査研究に関する事業	当期は実施しない					0

機関紙、刊行物、講演、展示会、ウェブサイト、映像上映等による広報及び啓発事業	事業活動についての講演を行った。	通年	大阪市 奈良市	3名	支援者 約500人	53
	機関紙「チョウタリイ通信」を作成した。	6月	奈良市	3名	不特定多数	64
	地域における多文化共生社会の推進啓発のための折り紙教室等のワークショップを開催した。	4月 6月 2月	奈良市	2名	参加者 50名	50
	大学において国際ボランティアについての講義を行った。	6月	大東市	2名	大阪産業大学の学生 約200人	4
社会教育及び政策提言事業	当期は実施しない					0
関連団体及び関係する国際機関との相互協力	Hug ² 祭り 2017 に出展した。	11月	奈良市	5名	来場者 多数	9
災害復興協力事業	ネパール洪水被災者支援を行った。(食糧支援、物資支援)	通年	ネパール ダヌシャ郡 奈良市	3名	被災者多数	198
	東日本大震災被災地の女性の仕事作り支援を行った。	通年	日光市 奈良市	3名	被災地の女性 約10名	292
国内外の伝統文化等の紹介及び国際交流に関する事業	ネパールにおける新校舎建設中の公立学校3校を訪問し生徒及び教師と交流した。次期の開校式の準備を行った。	2月 3月	ネパール ラリトプル郡 奈良市	2名	校舎建設地域の子どもたち、住民、教師等 約7,000名	1,035

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	支給額(千円)
イベント開催事業	当期は実施しない。	実施せず			0
文化教育事業	当期は実施しない。	実施せず			0

* 報告書の金額表示は、原則として単位未満の端数処理を四捨五入で表示しているため、表中の金額と内訳の合計が一致しない場合があります。